

中央工学校 学校評価 実施概要

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施し、その結果を公表する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

(1) 自己評価

学校運営について、学校の教職員が、学校の理念・目標に照らして自らの教育活動について評価を行う。

(2) 学校関係者評価

卒業生・企業・関連業界団体等の学校関係者を選任し、自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。

2. 情報の守秘義務

評価を通じて得た情報は、学校評価（自己評価・学校関係者評価）以外の目的に使用してはならない。

評価者は、評価を通して閲覧に供した資料及び評価活動を通じて得られた情報を漏えいしてはならない。なお、この守秘義務は評価活動の終了後も継続する。

3. 組織

学校評価（自己評価・学校関係者評価）を適切かつ円滑に行うための組織として、学内に次の委員会を組織する。

(1) 自己評価実施委員会

委員長：土田 俊行	副校長
委員：秋山 裕美	工業第一教員室
山田美都紀	工業第一教員室
別府 勝	工業第一教員室
川西 浩	工業第二教員室
嶋崎 晃平	工業第二教員室
角田 哲也	商業・文化教員室
宮崎 利久	就職指導課
岡部 公一	同窓会事務局
上野 観界	財務課
村山栄二郎	教務課
若泉 栄	教務課

(2) 学校関係者評価実施委員会

委員長：小栗 孝康	卒業生	
委員：石沢 健樹	企業・業界団体関係者	建築分野担当
篠原 英次	〃	デザイン分野担当
渡邊 幸広	〃	土木・測量・造園分野担当
水野 昭洋	〃	機械・CAD分野担当
脊板 幸子	〃	商業分野担当
小林 克哉	教育関係者	
井上 幸子	保護者	
鈴木 健一	地域住民	

(敬称略・順不同)

事務局：若泉 栄 教務課

委員任期を令和6年4月1日から令和8年3月31日(2年間)とする。

4. 評価要領

(1) 自己評価

学校運営について、各部署において作成された業務監査報告書(自己評価書)に基づき、自己評価書(添付資料1)を作成する。自己評価実施委員は、各部署の業務監査に立ち会い必要なヒヤリングを行う。

ア. スケジュール

6月：各部署による自己評価(業務監査)

10月：令和6年度自己評価期間(自己評価書作成)

2月：自己評価書(令和7年6月HP公表) → 次年度運営計画に反映

イ. 評価項目

(ア) 教育理念・目標・育成する人材像

- ①学校の教育理念・目的・育成する人材像は定められているか
- ②学校における職業教育の特色は何か
- ③社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ④教育目標・育成する人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者・関係業界等に周知されているか
- ⑤各学科の教育目標・育成する人材像・特色は、業界のニーズに向けて方向づけられているか

(イ) 学校運営

- ①目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- ③各規程等は整備されているか
- ④地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ⑤教育活動に対する情報公開が適切になされているか
- ⑥情報システム化等により業務の効率化が図られているか

(ウ) 教育活動

- ①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか
- ②各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ③授業評価の実施体制はあるか
- ④関連分野の企業等の連携により、カリキュラムの編成・見直し等が行われているか
- ⑤成績評価及び進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- ⑥教職員資質向上の為の研修が行われているか

(エ) 学修成果

- ①就職率の向上が図られているか
- ②資格取得率の向上が図られているか
- ③卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

(オ) 学生支援

- ①就職・進学に関する支援体制は整備されているか
- ②学生相談に関する体制は整備されているか
- ③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- ④学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか
- ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ⑥保護者との連携は構築されているか

(カ) 教育環境

- ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ②実習施設・インターンシップ等について十分整備されているか
- ③防災に対する体制は整備されているか
- ④防犯に対する体制は整備されているか

(キ) 学生の受入れ募集

- ①学生募集活動は適正に行われているか
- ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ③学納金は妥当なものになっているか

(ク) 財務

- ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか
- ③財務について会計監査が適性に行われているか
- ④財務情報公開の体制整備はできているか

(ケ) 法令等の遵守

- ①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ②個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか
- ③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ④自己評価結果を公開しているか

(コ) 社会貢献・地域貢献

- ①学校の施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ②学生の地域活動を奨励しているか
- ③地域に対する体験教室・職場体験の受託等を積極的に実施しているか

(サ) 留学生（国際交流）

- ①留学生の受入れについて、明確な方針のもと、適切に行われているか
- ②留学生の受入れ・在籍管理等は、厳正になされているか
- ③留学生の学習支援のために、有効な体制が整備されているか

(2) 学校関係者評価

自己評価書を学校関係者評価委員に事前配布し確認を依頼する。学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果について評価し、評価書を作成する。

会議の進行及び必要な事務は学校（事務局）が行うが、自己評価結果に対する公正な評価に努める。

ア. スケジュール

1月：令和6年度学校関係者評価委員会 開催 ※ 1月24日（金）

2月：学校関係者評価書（令和7年6月HP公表） → 次年度運営計画に反映

イ. 評価項目

評価項目（評価の観点）は次による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

以上

令和〇〇年度 自己評価報告書

1. 学校の教育目標

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標・育成する人材像

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
・学校の教育理念・目的・育成する人材像は定められているか	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・教育目標・育成する人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者・関係業界等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標・育成する人材像・特色は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

令和〇〇年度 学校関係者評価シート

(1) 教育理念・目標・育成する人材像

- 1-1 学校の教育理念・目的・育成する人材像は定められているか
- 1-2 学校における職業教育の特色は何か
- 1-3 社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 1-4 教育目標・育成する人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者・関係業界等に周知されているか
- 1-5 各学科の教育目標・育成する人材像・特色は、業界のニーズに向けて方向づけられているか

評価結果	適切	不適切
------	----	-----

自由記述欄
